

オプション検査

検査項目		検査内容
腫瘍マーカー	CEA	大腸がんなどの消化器のがんをはじめ、肺、卵巣、乳がんなどで高値になります。消化器系がんの手術や治療後のがんの再発・転移などの発見に、重要な役割を果たしています。
	PSA	前立腺に特異性の高い腫瘍マーカーで、がんの発見や経過観察に重要な役割を果たしています。前立腺炎や前立腺肥大で上昇することもあります。
	AFP	肝がんの腫瘍マーカーとして用いられ、肝炎や肝硬変でも測定値が上昇します。そのため、肝がんをはじめ、肝臓病の早期発見、診断、病状の経過観察などに役立っています。
	CA19-9	消化器系がんの腫瘍マーカーとして用いられ、膵臓、胆管、胆のうがんの時には数値が顕著に高くなります。特に膵がんの診断に役立っています。
	CA125	婦人科系疾患、とくに卵巣がんの発症を推定することができます。子宮内膜症と子宮筋腫の鑑別にも用いられます。ただし、妊娠初期や月経時・閉経前などに影響するので避けて下さい。
	CYFRA(シフラ)	肺がんのマーカーで、特に扁平上皮がん(扁平上皮細胞という表皮を作る細胞ががん化したもの)では早期から数値が高くなるので、早期診断に有効とされています。
喀痰検査		肺門(肺の入り口)にできたがんを痰の細胞診で発見します。痰は呼吸器系の粘膜からしみ出る分泌物で肺や気管支などの情報を得ることができます。喫煙者には特に有用です。
TSH・FT3・FT4		甲状腺機能を調べる検査です。バセドウ病などの甲状腺機能亢進症、橋本病などの甲状腺機能低下症や、その他の病態によって異常値になります。
梅毒		皮膚や粘膜の小さな傷から梅毒トレポネーマが侵入することによって感染し、血液に乗って全身に広がり様々な症状を引き起こす全身性の慢性感染症です。主に性交渉で感染します。
胸部(肺)CT検査		胸部X線では心臓や血管の後ろに隠れているがんを発見するのは困難ですが、胸部CTスキャンは心臓や血管に隠れた肺がんや小さながんを発見するのにも有用です。
腹部CT検査		主に肝臓、胆嚢、膵臓、腎臓、脾臓の病変の観察ですが、ガスや脂肪のために腹部エコーでは見えにくい深部臓器の描出が可能で、副腎、大血管、リンパ節にある病変等の観察が可能です。
ピロリ菌検査(血液)		胃がんの原因となるピロリ菌が胃に存在していると、慢性胃炎、胃潰瘍や十二指腸潰瘍も引き起こします。胃腸の不調の原因はピロリ菌であることが多いので、血液検査で簡単に判明します。
ペプシノゲン検査(血液)		ペプシノゲンとは胃粘膜から分泌される物質です。胃粘膜の老化（萎縮）の状態を調べる検査で、萎縮が進んだ胃は胃がんになりやすいと言われています。

※オプション検査(検査料金)についてはお問い合わせ下さい

アレルギー検査

検査料金(税込)	17,600円
人間ドック追加料金(税込)	14,300円

一度に39種類のアレルゲンを調べることができます

アレルギー疾患では原因アレルゲンを正確に特定することが重要です。
なぜなら、ぜんそく・アトピー性皮膚炎・アレルギー性鼻炎/結膜炎では原因アレルゲンの除去・回避（セルフケア）と薬物療法、食物アレルギーでは原因食物を食べないこと（食物除去）が原則だからです。

アレルギー度チェックシート

下記項目に1つでも当てはまる方はアレルギーかもしれません。

☐ 決まった季節に目のかゆみ、充血、くしゃみ、鼻水がでる

☐ 掃除、衣替えなどをすると目のかゆみ、充血、くしゃみ、鼻水がでる

☐ 肌が乾燥しやすく、湿疹がしやすい、荒れやすい

☐ ちょっとした刺激で肌が赤くなりやすい

☐ ひじやひざの裏など屈曲部に湿疹がでる

☐ 食べ物を食べた後、お腹が痛くなることがある、蕁麻疹がでる

☐ 果物や野菜を食べると口の中やのどがビリビリ・イガイガする

☐ 嫌いなものではないが、食べられないものがある

☐ 息苦しい時がある（ゼーゼー・ヒューヒュー）

☐ 咳が8週間以上続くことがある

☐ 家族にアレルギーの人がいる



アレルゲン

吸入系・その他		食物系	
室内塵	ヤケヒョウヒダニ、ハウスダスト1	卵	卵白、オボムコイド
動物	ネコ皮膚、イヌ皮膚	牛乳	ミルク
昆虫	ガ、ゴキブリ	穀類	小麦、ソバ、米
樹木	スギ、ヒノキ、ハンノキ（属）、シラカンバ（属）	甲殻類	エビ、カニ
イネ科植物	カモガヤ、オオアワガエリ	豆類	大豆、ピーナッツ
雑草	ブタクサ、ヨモギ	肉類	鶏肉、牛肉、豚肉
真菌	アルテルナリア（スズカビ）、アスペルギルス（コウジカビ）、カンジダ、マラセチア（属）	魚類	マグロ、サケ、サバ
職業性	ラテックス	果物	キウイ、リンゴ、バナナ
		その他	ゴマ

青文字はアレルギー物質を含む食品の表示義務・推奨食品に関連する項目です